

令和4年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況の
点検及び評価に関する報告書
(対象年度：令和3年度)

高萩市教育委員会

目 次

I	はじめに	
1	趣旨	1
2	点検及び評価の対象	1
3	点検及び評価の方法	1
4	外部評価委員	1
II	点検及び評価結果	
1	教育委員会の活動	2
2	教育委員会が管理・執行する事業	4
(1)	学校教育	4
(2)	生涯学習	17
(3)	スポーツ振興	21
(4)	市民文化	26
(5)	防犯	32
(6)	人権	34
III	外部評価委員会委員の意見	36
IV	参考資料	
	地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）	37

1 はじめに

1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律（平成20年4月1日施行）の施行により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用した点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成して議会に報告するとともに、公表しなければならないとされました。

このため、高萩市教育委員会では、法律が改正された趣旨に則り、より効果的な教育行政の推進を図るため、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書（令和3年度実績）」としてまとめ、議会に報告するとともに公表することとします。

2 点検及び評価の対象

本市の市政運営の基本である第6次高萩市総合計画「地域力が笑顔をおまわち 高萩」及び教育委員会の運営の基本である「高萩の教育」における重点戦略を構成する施策のうち、令和3年度に教育委員会が実施した主な事務事業を点検及び評価の対象としました。

3 点検及び評価の方法

教育委員会が実施した事務事業を「1 教育委員会の活動」と「2 教育委員会が管理・執行する事業」に大別し、項目ごとに自己点検評価を行いました。

また、点検と評価の客観性を確保するために、事務局内部で実施した点検と評価報告について、教育に関し深い知識を有する者（外部評価委員）の意見を求めました。

4 外部評価委員

（敬称略）

氏 名	所 属
蛭 田 隆 久	元高萩中学校長
黒 澤 み の り	市社会教育委員
堀 江 友 次	市スポーツ協会理事長

II 点検及び評価結果

1 教育委員会の活動

(1) 教育委員会の構成

職名	氏名	任期
教育長	大内 富夫	令和3年4月1日～令和6年3月31日
教育長職務代理者	鈴木 幸男	平成30年10月1日～令和4年9月30日
教育委員	増子 恵美	令和2年10月1日～令和6年9月30日
教育委員	佐川 睦子	令和3年10月1日～令和7年9月30日
教育委員	山崎 貴志	令和3年4月1日～令和7年3月31日

(2) 令和3年度教育委員会月別開催状況

教育委員会では、付議された案件についての審議や報告等を行う定例会を毎月1回開催する他に、必要に応じて臨時会を開催しました。また、教育委員の意見交換や研修活動等の場として協議会を開催しました。

教育委員会では、26件の議案と7件の報告について審議しました。人事案件や教育委員会規則の制定又は一部改正等について慎重かつ迅速な審議が適正に行われました。これらにおいては、本市の教育行政について様々な視点から建設的に議論されてきました。

教育委員会では、第6次高萩市総合計画で示された主要施策である「未来を切り拓く地域人（萩っ子）が育つまち」等の実現に向けて、様々な事業の展開に努めてきました。

(単位 回)

区分 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
定例会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
臨時会	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2

(3) 学校訪問

教育委員会と学校現場が互いに共通認識を持ち、より良い学校教育を推進することを目的として、学校園訪問を実施しています。教職員が実際に指導している様子や子どもたちの様子を把握するとともに、学校及び園での取り組みや課題について意見交換を行っています。

月 日	場 所
5月26日	高萩小学校、東小学校、松岡小学校、松岡幼稚園
5月31日	秋山中学校、松岡中学校、秋山幼稚園
6月1日	秋山小学校、高萩中学校、第一幼稚園、東幼稚園

1月26日	秋山中学校、松岡中学校
1月27日	高萩小学校、第一幼稚園、東幼稚園
1月28日	東小学校、松岡小学校、高萩中学校、松岡幼稚園
2月22日	秋山小学校、秋山幼稚園

(4) 教育委員研修

例年、国・県・他自治体の取組等に触れる機会を設け、委員としての見識を深めるため、研修に参加していますが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策のため研修会等は中止になりました。

2 教育委員会が管理・執行する事業

(1) 学校教育

一人一人の個性や能力、可能性を広げる教育内容を充実させ、生涯をよりよく生きるための豊かな心と健やかな体を持つ、いきいきとした荻っ子を育てます。

地域の特性や実態に合わせた指導体制や教育施設の充実に努め、豊かで安心して学べる教育環境を整備していきます。

事業名	① 教育環境の整備			
施策の内容	<p>○児童・生徒数の減少や学校施設の老朽化等の実情を踏まえ、学校施設の適正な配置・整備を進めます。</p> <p>○国のGIGAスクール構想を踏まえ、ICT教育の環境整備と指導内容の充実に努めます。</p>			
担当課	教育総務課・学校教育課			
実施内容	<p>○教育環境の改善を図るため、高萩小学校体育館照明改修、高萩中学校体育館照明改修、松岡中学校自動火災報知設備改修、各小中学校特別教室空調設備整備等を行った。</p> <p>○国のGIGAスクール構想に基づくICT教育環境整備が進み、情報モラル教育や情報セキュリティに関する指導のほか、教員向けのICT活用研修会を開催し、情報共有を図った。</p> <p>○園児数の減少への対応と子ども達に良質な幼児教育・保育環境を提供するため、幼保連携型認定こども園「市立たかはぎ認定こども園」を整備した（令和4年4月開園）。</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	<p>○少子化が著しく進行する中、将来を見据えた学校施設の適正な規模、適正な配置について検討を進め、子ども達が安心して学習に取り組める教育環境を整備する。</p> <p>○教育委員会と学校が連携し、国のGIGAスクール構想に基づいたICT教育環境整備の充実、情報活用に関する正しい知識や判断力を身に着けるための情報モラル教育及び情報セキュリティに関する指導を継続する。</p> <p>○教員のICT活用指導力を向上させ、授業において効果的にICTを活用することで、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を図ることを目的として、ICT校内推進教師研修会を定期的実施する。</p> <p>○松岡・秋山幼稚園については、園児数の減少や耐震化が課題となっているため、たかはぎ認定こども園への統廃合を含めた適正なあり方について引き続き検討する。</p>			

主 要 事 業 指 標 (総合計画の成果指標)	基準値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R7)
小中学校幼稚園の適正配置・整備	—	—	児童生徒により良い学習環境を提供するため、学校適正配置計画策定を進め、学校適正配置の具体化に向けた事業の推進を図る。
小中学校ICT教育環境整備	—	—	国のGIGAスクール構想を踏まえ、ICT教育環境整備と運用方法や指導内容の充実に努める。

外部評価委員の評価	<p>○今までは担当課が教育総務課だけであったが、今回は学校教育課との連携のもと教育活動のねらいがあつての教育施設の充実ということがより鮮明になった。今後も教育総務課と学校教育課との連携を望む。</p> <p>○「実施内容」と「評価」、「課題と今後の取組」については、具体的な観点から課題に対する今後の取組みが関連付けて記述されている。</p> <p>○国の施策であるG I G Aスクール構想に基づく情報機器の整備と指導内容の充実が着実に進んでいる様子がかがえ心強く感じた。</p> <p>○「主要事業指標」、「目標値」が新しくなり分かりやすくなったが、目標値の記述については、より具体的な記述が欲しい。</p> <p>○国のG I G Aスクール構想に基づいたICT教育において、情報モラル・セキュリティに関する指導法の取組みが見える。今後もさらに期待したい。</p> <p>○教員向けのICT活用研修会の定期実施は、全教員を対象として今後も期待したい。</p> <p>○組織体制の異なる幼稚園と保育所の統廃合の幼保連携型認定こども園「市立たかはぎ認定こども園」を4月開園に向けて整備したことは、担当職員の並々ならぬ意気込みを感じる。高く評価したい。</p> <p>○学校施設の老朽化等の実情を踏まえ、改修・整備を計画的に実践している。引き続き、教育環境の推進をお願いする。</p> <p>○学校におけるより快適な照明環境の構築と省エネのLED照明を活用する取組みは、明るさと省エネが実現する。引き続き推進をお願いする。</p> <p>○ICT教育環境が進み、情報活用に関する正しい知識や判断力を身につける情報モラル教育や情報セキュリティに関して取り組んでいる。引き続き、G I G Aスクール構想の実現に向けての取組みに期待する。</p> <p>○施設の老朽化と園児の減少が進んでいた第一・東幼稚園、高萩保育所の3施設を統合し、計画予定通り令和4年4月1日開園した。松岡・秋山幼稚園について、市民目線で幼児教育・保育環境整備計画の取組みをお願いする。</p>
-----------	--

事業名	② 確かな学力の定着			
施策の内容	<p>○訪問指導と定期的な研修を通して教員の授業力を向上させ、児童生徒の学力向上につなげていきます。</p> <p>○家庭学習については、課題の内容や与え方を工夫するなど、より実効性のある家庭学習の実現に向けて取り組みます。</p>			
担当課	学校教育課			
実施内容	<p>○県の学力診断のためのテストが1年ぶりに行われた。学校や学年、教科による平均正答率に差がみられた。</p> <p>○小・中学校学習指導要領改訂に伴い、指導と評価の一体化に関する資料を配付し、市の計画訪問で具体的に助言した。</p> <p>○休校期間には、タブレットを使用するオンライン授業を実施した。また、子どもたちの学びを止めないよう、いばらきオンラインスタディ（教科書をもとに茨城県の教員が作成した学習動画）や教師が作成した課題プリント等を活用して、学習内容の定着や家庭学習の充実に取り組んだ。</p> <p>○休校期間後は、子どもたち一人一人の自主学習の成果や課題を確認し、当該学年の学習内容を復習しながら、授業を進めた。教育委員会では、履修状況を確認し、当該学年で履修すべき内容の漏れがないよう助言した。</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input type="checkbox"/> ほぼ順調	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	<p>○採用3年目までの若手教員を対象に、授業力向上・児童生徒の学力向上を目的とした研修を計画的に実施することで、若手教員の資質・能力の向上を目指す。</p> <p>○教科等指導員を対象とした研修会を実施し、若手教員に対する適切な助言や指導について学ぶことで、若手教員及び教科等指導員の資質向上を図る。</p>			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R7)
県学力診断テスト市平均点と県平均点との差 (小学校)	-	-4.2点	+0.5点
県学力診断テスト市平均点と県平均点との差 (中学校)	-	-5.7点	+0.5点
県学力診断テスト市平均点と県平均点との差 (英語)	-	-7.2点	0点

※令和2年度県学力診断テスト…新型コロナウイルス感染症の影響により未実施

<p>外部評価委員の評価</p>	<p>○コロナ禍の中、前年度に増して各教科内容定着のためタブレットやインターネットによる授業が進み、効果をあげている取組みがうかがえた。ただし、小学校の低学年ほど担任との対面指導が児童の発達に関わる部分が大きいのと思われるので、オンライン授業だけに偏らないようにしてほしい。</p> <p>○「実施内容」に対する「課題と今後の取組」をさらに関連付けると「評価」の位置付けがより明確になると思う。</p> <p>○休業期間中のオンラインスタディ実施により、自分のペースで分からない点は繰り返し動画を見て学習したとのことだが、県の学力診断テストにおいて県と市との平均点の差は小学校－4.2点、中学校－5.7点と、ともにマイナス点である。特に英語は－7.2点である。今後は、対面授業で学力向上に向けての指導に期待したい。</p> <p>○休校期間に子どもたちの学びを止めない取組みと休校期間後の子どもたち一人一人の自主学習の成果や課題を確認した授業取組みを評価する。引き続き、確かな学力の向上への取組みを期待する。</p> <p>○主要事業指標の県学力診断テスト市平均点と県平均点との差が若干ある。結果を分析して目標値を改善できる取組みをお願いします。</p> <p>○採用3年までの若手教員の資質・能力向上を目指した研修は重要な取組みと考える。引き続き、資質向上と授業力向上を支える基盤づくりをお願いします。</p>
------------------	--

	<p>遣し、学校の図書担当教諭や委員会活動と連携し、魅力ある図書室づくりを進め、読書活動を推進する。高萩市立図書館で導入している電子図書の活用を図る。</p> <p>○個人向けの分析結果の出るハイパーQ Uアンケートを実施し、児童生徒一人一人にとって居心地のよい学級づくりに一層努める。結果を分析するための動画の活用やハイパーQ Uアンケート活用に関する研修会を実施することで、分析の精度を高め、一人一人の状況を正確に把握し手だてを講じるようにする。</p> <p>○今年度も、コロナ禍のため、地域のボランティア活動や行事への参加、特別支援学校との交流、高齢者との触れ合いなどの機会が大きく減少した。感染症対策を講じながら、計画を練り直し、新たな交流の仕方を検討する。</p> <p>○関係機関との連携を図りながら、幼稚園介助員や小・中学校生活指導員兼介助員の研修を充実させ、切れ目のない支援を充実させる。</p>
--	---

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R7)
萩っ子5 (5つの約束) を意識した生活を送れた 児童生徒の割合	84%	84.3%	88%
みんなにすすめたい一 冊の本達成率 (小学校)	86.9%	84.7%	90.0%
みんなにすすめたい一 冊の本達成率 (中学校)	29.3%	18.2%	20.0%
スクールカウンセラー への相談回数	1,804回	2,267回	2,000回
心の教室相談員への相 談回数	193回	196回	190回
萩のひろば支援員へ相 談回数	58回	66回	60回

※萩っ子5 (5つの約束)

1. 進んで学習します
2. 誰にでも優しくします
3. 明るく元気に過ごします
4. 高萩のよさを学びます
5. 夢に向かって行動します

<p>外部評価委員の評価</p>	<p>○豊かな心の育成のための手立てとして多くの施策が講じられている。具体的な各校の取組みと成果、課題が分かるとさらに良い。</p> <p>○「主要事業指標」を「萩っ子5（5つの約束）」についての5観点に沿った目標を立てて判断すると分かりやすいと思う。</p> <p>○ハイパーQUアンケート実施により、全体的いじめの認知件数減少は、いじめ防止の成果が上がっているように見える。また、SNSでのトラブル増加現象は水面下の見えにくいトラブルを把握できたと担当者の意気込みを確信した。「主要事業指標」の相談回数が目標値を上回っていることから、相談できる良い環境を作ったと高く評価したい。今後は、さらにトラブル解消に向けての取組みに期待したい。</p> <p>○生徒指導スローガン「み・そ・あ・じ」を市内全体で積極的に展開、しっかり取り組んでいる。引き続き、全校での取組状況を水平展開し、定着する指導をお願いします。</p> <p>○「みんなにすすめたい一冊の本推進授業」の読書活動は、小・中学校ともに前年度から若干減少した。引き続き、子どもの人格形成に大きな役割を果たす読書活動の推進をお願いします。</p> <p>○ハイパーQUアンケートを継続して取り組み、現状を把握していじめ防止対策を実施していることを評価する。継続してアンケートを実施し、児童生徒一人一人を大切にした学級づくりといじめ防止をお願いします。</p>
------------------	--

事業名	④ 健やかな体力の向上			
施策の内容	<p>○体育の授業や部活動等を通して、児童生徒の体力の向上に努めます。</p> <p>○民間企業との連携による水泳学習、体育的行事、部活動、スポーツチャレンジ等を通して運動への興味関心を高めます。</p> <p>○安心な給食の提供及び食育の推進に努めます。</p>			
担当課	学校教育課・教育総務課			
実施内容	<p>○一人一人の動きを撮影し、スローで再生して体の使い方を確認したり、グッドモデルを提示して全員で共有したりと体育の授業でもICTを積極的に活用し、技能の向上に努めた。</p> <p>○各中学校では、運動部活動の充実が図られ、生徒の自主性・主体性を高める運営に努めた。</p> <p>○「高萩市運動部活動の運営方針」及び各学校の運営方針に則った部活動運営を基本とし、適正な時間管理の下、コロナ対策をしながら合理的かつ効率的・効果的な部活動運営に努めた。</p> <p>○部活動指導員を配置し、専門的な指導を行うとともに、教員の負担軽減を図った。</p> <p>○栄養教諭により、児童生徒の発達段階に応じて朝食摂取の大切さや心身の成長に必要な栄養などの食育に関する授業を行った。また、給食日よりやホームページにその日の給食の画像と内容等を載せるなどして、保護者にも食事の大切さを伝えた。</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input type="checkbox"/> ほぼ順調	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	<p>○児童生徒の体力向上については、課題の見られる運動能力の向上に努める。また、体育的行事、部活動、スポーツチャレンジ、民間スポーツクラブとの連携による水泳学習等を通して運動への興味関心を高める。</p> <p>○部活動指導員が配置されていない学校への配置を推進するとともに、指導員の効果的な活用や望ましい部活動指導の在り方等について、教員及び指導員対象の研修を実施する。</p> <p>○部活動の地域移行を視野に入れた部活動指導員の配置を推進していく必要がある。</p> <p>○目標とする学校給食残食率に向け、引き続き栄養教諭による「食育」を継続し、苦手な食べ物にも挑戦できる児童生徒の育成を目指す。また、保護者にも積極的に情報を発信していくことで家庭での食育の推進も図っていく。</p>			

主 要 事 業 指 標 (総合計画の成果指標)	基準値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R7)
部活動指導員配置校数	1校	1校	3校
学校給食の残食率	18.2%	19.2%	15.0%

<p>外部評価委員の評価</p>	<p>○体育でICTを活用した授業に取り組んでいることや給食だよりやホームページに給食の画像と内容等を載せる積極的な取組みが印象に残った。</p> <p>○運動能力の何が課題でどんな取組みをするのかが分かる記述だと読み取りやすい。</p> <p>○一人一人の動きを撮影し、スローで再生して体の動きを確認しながら全員で共有することによって技術向上につなげたことは素晴らしい。今後も継続実施に期待したい。</p> <p>○部活動加入は生徒自身の決定であり、希望する生徒が顧問と一緒に練習計画を立てることは、生徒の自主性・主体性を最高に伸ばすと考えられる。今後も継続実施に期待したい。</p> <p>○部活動指導員の配置は、地域人材を生かした専門的指導を行う素晴らしい取組みだと感じた。</p> <p>○一人一人の動きを撮影しての体育授業は、運動能力の実態を把握して技能向上に大変有効的な取組みと評価する。一人一人の体力や運動能力の実態を踏まえ、継続した取組みにより技能向上を期待する。</p> <p>○部活動指導員の配置推進と教員及び指導員を対象に研修を実践し、充実した部活動の取組みに期待する。</p> <p>○栄養教諭による、児童生徒の発達段階に応じた食に関する指導と家庭への情報発信は、食事の大切さと学校給食残食率軽減に務めていることを評価する。引き続き、健全な食生活の推進をお願いします。</p>
------------------	--

事業名	⑤ 開かれた学校運営			
施策の内容	<p>○全ての学校でのコミュニティ・スクール導入を契機として、学校、家庭、地域の連携をより一層密にして学校教育を推進します。</p> <p>○自殺・いじめ防止等の対策として、外部機関との連携を強化し、新たな学校支援体制の構築に取り組みます。</p>			
担当課	学校教育課			
実施内容	<p>○令和2年度にコミュニティ・スクールを市内全校に導入した。学校運営協議会を年5回開催し、地域の目指す子ども像を共有し、各コミュニティ・スクールの特色を生かした実践が行われた。地域連携コーディネーターの研修や学校運営協議会委員の研修を行った。市報にコミュニティ・スクールの活動の様子を掲載し、保護者・地域への啓発に努めた。</p> <p>○コミュニティ・スクールの全校導入に向け、校種間連携事業を「ユニット3」に変更し、ねらいを明確にした交流ができるように年間計画の作成、見直しをした。</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	<p>○令和3年度当初は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、外部の人材の活用ができなかったが、はぎッズサポーターなどによる活動が再開できた。</p> <p>○各学校に地域連携コーディネーターを配置し、研修を充実させることで学校・家庭・地域社会が相互に連携・協力した教育を推進する。</p> <p>○地域連携コーディネーターを中心に、はぎッズサポーター等の地域人材の活用を充実し、本物を見せる授業、地域と協働して子どもたちを育てる学校づくりを推進する。また、改めて教職員や地域・家庭に積極的に情報発信を行い、事業の活性化を図っていく。</p>			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R7)
はぎッズサポーターを 活用した回数	80回	981回	1,000回

※はぎッズサポーター活動例

- ・授業支援、クラブ活動支援、学校行事支援
- ・登下校の見守り、休み時間の見守り
- ・環境整備など

外部評価 委員の評価	<p>○コミュニティ・スクール全校導入後の学校や地域の変化について公表する活動を市報などを通して行ってほしい。</p> <p>○「目指すこども像」を市内で統一せず、各地域によって異なる目指す像を掲げ、なおかつ学校運営協議会において共有を認識することは大変すばらしい。</p> <p>○コミュニティ・スクールを全校導入し、地域とともにある学校づくりに向けて、地域連携コーディネーター・学校運営協議会委員の研修を行い、目標やビジョンを共有した取組みを評価する。引き続き、地域とともにある学校づくりに向けた様々な取組みに期待する。</p> <p>○コミュニティ・スクール活動を広報し、地域住民の方々に関心を持ってもらい、家庭・地域と協働して子どもたちを育てる学校づくりを推進している。</p> <p>○コロナ禍の中、後半から、はぎッズサポーターなどの活動が展開され、前年度80回を大きく上回る981回実施し、積極的な外部の人材活用活動を評価する。</p>
---------------	--

(2) 生涯学習

誰もが自由に学習機会を選択して学び、それを地域や家庭内で活かしていくことで、生きがいや充実感を持って暮らせる社会を目指します。

事業名	① 生涯学習機会の充実と地域・家庭の教育力向上			
施策の内容	<p>○多様化する市民ニーズに合った学習機会の充実と学習の成果を活かす環境づくりが求められており、学び合い、教え合う中で地域を考える活動が必要になります。</p> <p>○生涯学習の拠点となる公民館等において、市民のニーズを踏まえた講座等を企画します。</p>			
担当課	生涯学習課			
実施内容	<p>○市民の生涯学習活動の一助となる生涯学習情報誌「学びいきいき高萩2021」を作成し、関係機関等へ配付した。</p> <p>○小中学校にコミュニティ・スクール制度が導入され、学校・家庭・地域社会が連携・協働し子どもたちを育む体制となり、地域の人材であるはぎっズサポーターの活用により、地域社会と学校との連携を図った。(延べ981回活動)</p> <p>○市民団体との連携により「いきいき萩っ子育成事業」を実施し、子どもから高齢者まで交流し学べる2事業を実施した。(「自分だけの凧を作ろう」「カレンダーを作ろう」)</p> <p>○子育て世代を対象とした「楽しく子育て応援講座」を新たに開設するとともに、初心者に向けた「スマホ講座」を開設した。</p> <p>○体験活動を通して子どもたちの健全育成を図る「少年探検講座」「萩っ子歴史探検隊」についてはコロナの影響により開催を断念したが、「サマージャンボリー」については、開催時期をずらし、内容を変更するなどの工夫をし、実施した。</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	<p>○はぎっズサポーター、地域子ども安全ボランティア、放課後子ども教室支援員など、ボランティアの効果的な活用を図るため、組織の一元化を検討する。</p> <p>○学校教育支援体制の充実を図る。</p> <p>○コロナ禍での事業実施手法のさらなる検討、改善を行う。</p>			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R7)
公民館講座参加者数	1,479人	1,153人	1,500人
市民指導者登録数	60人	58人	60人

外部評価委員の評価	<p>○コロナ禍で各種行事が中止になることが多かったが、市民団体との連携により「いきいき萩っ子育て事業」を実施したり、「サマージャンボリー」では開催時期や内容変更など工夫をした前向きな取組みが行われたことは素晴らしい。</p> <p>○後半からが主であったにも関わらず「はぎっズサポーター」の活用回数が981回と多く、コミュニティ・スクール制度導入により学校・地域・家庭との連携の成果が上がっているように思う。</p> <p>○市民の生涯学習活動の一助となる「学びいきいき高萩2021」作成配布と子育て世代を対象とした「楽しく子育て応援講座」・初心者に向けた「スマホ講座」を開設し、市民ニーズに合った学習機会の提供を評価する。引き続き、学習機会提供の取組みをお願いします。</p> <p>○地域人材のはぎっズサポーターの活用を図り、地域社会と学校が連携・協働し子どもたちを育てる取組みを評価する。継続の取組みをお願いします。</p>
-----------	--

事業名	② 社会教育施設の整備と活用			
施策の内容	○社会教育施設の適正配置・管理体制を整え、市民に愛される施設として活用します。			
担当課	生涯学習課			
実施内容	○老朽化が進んでいた安良川公民館の廃止及び解体を進めた。 ○図書館においては、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用しトイレの改修を実施するとともに電子図書館を導入し利用者の利便性の向上を図った。 ○商工会等と協働して出前講座を開設した。			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	○当課で所管する全施設において老朽化が進んでいる状況であるため、高萩市公共施設等管理計画及び高萩市公共施設個別施設計画を踏まえ、将来的な集約・廃止を見据えた施設管理・修繕・更新等をしていく。 ○市民ニーズの把握及び事業化（講座開設等）を進める。			

主要事業指標 （総合計画の成果指標）	基準値 （R2）	実績値 （R3）	目標値 （R7）
各種講座開設数	12 講座	18 講座	20 講座

<p>外部評価 委員の評価</p>	<p>○コロナ禍の中ではあったが、各種講座開設数が増えていることは、市民の活動が裾野を広げていることと、市民ニーズの把握が適切で工夫して取り組まれた結果であると思う。</p> <p>○安良川公民館の廃止・解体の実施は、老朽化が進んだ施設への取組みが見える。今後、老朽化が進んだ施設の集約・廃止の計画において、住民活動の場の確保も検討してもらいたい。</p> <p>○老朽化が進んでいた安良川公民館が廃止及び解体された。他の多くのコミュニティ施設の老朽化が進んでいる。高萩市公共施設等管理計画に基づき、公共施設等の総合マネジメントを進め施設管理をお願いする。</p> <p>○図書館は、地方創生臨時交付金を活用してトイレの改修と電子図書館を導入し、利用者の利便性の向上が図られた。今後、図書館利用が増えることを期待したい。</p> <p>○主要事業指標の各種講座開設数は、商工会等と協働しての出前講座を開設して大幅に増加した。今後も積極的な取組みに期待する。</p>
-----------------------	--

(3) スポーツ振興

各種スポーツ教室や講習会等の充実及びスポーツ施設の適切な維持管理により、幅広い世代の市民が多種多様なスポーツ・レクリエーション活動へ参加できる機会の増加に努めます。

スポーツ振興団体と協力し、指導者研修や指導者の活用の促進、次世代の指導者の育成等に取り組みます。

事業名	①生涯スポーツ・レクリエーション活動の振興			
施策の内容	<p>○特色ある講座やスポーツ・レクリエーション等様々な取り組みを展開し、幅広い世代の多くの市民が年齢や体力に応じ気軽にスポーツに親しめる環境を整えます。</p> <p>○指導者研修等により、市民ニーズに対応できる指導者の確保に努めます。</p>			
担当課	生涯学習課			
実施内容	<p>○市内小中学校の体育館や校庭等の体育施設を学校教育に支障のない範囲内で市民へ開放を行った。学校体育館の開放については、利用団体間で調整を行い利用できた。</p> <p>○珂北高等学校野球大会を無観客で実施した。市長杯争奪軟式野球大会は中止、たかはぎ駅伝競走大会は次年度への延期を決定した。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、体力づくり市民歩く会は中止としたが、代替オンラインイベントとして「オクトーバーラン&ウォーク 2021」に高萩市として参加し、多くの市民に参加していただいた。</p> <p>○2019年に開催された「いきいき茨城ゆめ国体」のレガシーを引き継ぎ、ウエイトリフティング教室を実施した。さらに、毎年1回ウエイトリフティングの全国大会の開催を目指し、「令和3年度全国中学生ウエイトリフティング選手権大会」を開催し、多くの中学新記録が樹立されるなど盛り上がる競技会となった。</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	<p>○ホームページやSNS等を活用し、各種団体と連携を図り、市内スポーツの普及啓発活動に努め、スポーツ人口の増加に努める。</p> <p>○公道で実施している体力づくり市民歩く会及びたかはぎ駅伝競走大会については、警察と連携し参加者の安全確保に努める。</p> <p>○ウエイトリフティング競技力の向上を図るとともに、競技の普及啓発等に積極的に取り組み、スポーツ交流事業の増加と地域のスポーツ環境の向上を目指す。また、ウエイトリフティングの全国大会の開催を通じて街の活性化に努める。</p>			

主 要 事 業 指 標 (総合計画の成果指標)	基準値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R7)
各種スポーツイベント 等への参加者数	3,200人	101人	3,500人

<p>外部評価委員の評価</p>	<p>○コロナ禍の中だが、各種団体と連携を図り、市内スポーツの普及啓発活動に努め、スポーツ人口の増加のために取り組んでいる様子がうかがえた。</p> <p>○市内小中学校の体育館・校庭などの体育施設の開放は、多くの団体の利用が可能であり、スポーツ活動参加は体力づくりや健康増進につながる。今後も、学校教育に支障がない範囲で体育施設開放の継続を期待する。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症拡大防止により、イベントの中止があいつぐ中、高萩市としてオンラインイベント参加は担当者の相当な意気込みを感じた。さらに、参加者101名でオンライン不得手の方用に独自で紙媒体集計の取組みは、高く評価したい。</p> <p>「令和3年度全国ウエイトリフティング選手権大会」において、29個の中学生新記録を樹立したことは、日々努力をしている成果が上がっているように見える。高く評価したい。</p> <p>○小中学校の体育施設開放は、多くの団体が調整を行い利用している。今後もスポーツ活動への参加を促進し、体力づくり・健康増進のため多くの団体が利用できるよう開放をお願いする。</p> <p>○コロナ禍で多くの大会や行事が中止となった。感染防止対策を実施し安全確保に努め、多くの市民が参加する大会や行事ができることを期待する。</p> <p>○国体終了後もウエイトリフティング教室を継続して実施している。全国大会を開催し、中学生の部では多くの新記録を樹立する大会となり、スポーツ交流が図られた。今後もウエイトリフティング競技力の向上とともに競技の紹介と普及に期待する。</p>
------------------	---

事業名	②スポーツ施設の整備と活用			
施策の内容	○幅広い世代の市民が、スポーツ施設を活用し、ライフステージに応じてスポーツ活動に取り組むことができるよう、計画的に各施設を整備します。			
担当課	生涯学習課			
実施内容	<p>○サンスポーツランド高萩施設内の電灯をLEDに更新し、利用者の安全確保に努めるとともに、消費電力の縮減を図った。</p> <p>○高浜スポーツ広場のグラウンド及びテニスコートの照明設備のLED化に向けた実施設計を委託した。</p> <p>○石滝サッカー場は、傷んだ人工芝の一部張替え工事を実施し、利用者の安全性の確保に努めた。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、市内スポーツ施設を全館閉館した期間もあった。</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	○所管する全施設において老朽化が進んでいる状況であるため、高萩市公共施設等管理計画及び高萩市公共施設個別施設計画を踏まえ、将来的な集約・廃止を見据えた施設管理・修繕・更新等をしていく。			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R7)
スポーツ施設利用者数	102,217人	116,350人	100,000人

外部評価 委員の評価	<p>○所管する全施設において老朽化が進んでいる状況だが、適切に施設管理・修繕・更新等に努めている様子がうかがえた。</p> <p>○照明設備を既存の電球からLEDに変更したことは、消費電力削減への取組みがみえる。</p> <p>○市内スポーツ施設を全館閉館した期間があったにも関わらず、スポーツ施設利用者が昨年度より約14,000人増加して116,350人と伸びていることはすばらしい。</p> <p>○スポーツ施設の電灯をLED照明に更新する取組みは、明るさと省エネが図られる。他施設についても見直し、LED化を計画的に更新することをお願いする。</p> <p>○スポーツ施設の老朽化が着実に進行しており、計画的な改修及び修繕の取組みをお願いする。</p> <p>○主要事業指標のスポーツ施設利用者数は、前年度より大幅に増加した。今後も市民が安全・安心してスポーツ活動できる施設の充実をお願いする。</p>
---------------	---

(4) 市民文化

創作・発表の場があり、文化団体やグループ・サークル活動が活発に行われるなど、文化活動が充実した社会を目指します。

郷土の歴史や文化財を知り、身近に触れることができ、郷土に関心が持てる環境を整えます。

市内の指定文化財の適切な保護・保存・活用を進め、本市の歴史や文化財に興味・関心を持つ市民を増やします。

外国人との交流や外国文化に触れる機会を増やし、異文化への関心を高めていきます。

事業名	①芸術文化の振興		
施策の内容	○市民のニーズに合った芸術・文化活動を身近に感じられるよう、芸術文化活動への支援の充実を図ります。		
担当課	生涯学習課		
実施内容	<p>○新型コロナウイルス感染症の影響により、実施を予定していた文化祭、子ども文化教室一日体験講座、国際交流の集い、海外派遣事業など、ほぼすべての文化的事業の開催を見送ることとなった。</p> <p>○文化協会加盟団体の中には、コロナ禍でも工夫して活動を行っている団体もあり、どのような工夫をしたのかなどを文化協会内で共有するよう努めた。また、各団体において会員の勧誘に努めている。</p> <p>○コロナ禍でも活動を目指す公民館自主クラブへ、感染症対策等の支援を行った。</p> <p>○文化会館においては、実施予定であった観劇会や市民音楽祭などの自主事業も全て中止となった。</p>		
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい <input checked="" type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	<p>○文化団体構成員の高齢化がみられるため、若年層の取り込みが必要。</p> <p>○コロナ禍で活動が停滞した団体の再始動への支援。</p> <p>○高萩市国際交流協会と協働して、外国文化に触れる機会や市内在住外国人との交流の創出。</p> <p>○幅広い年齢層にアプローチできる文化会館自主事業の検討。</p>		

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R7)
文化祭等事業への参加者数	2,710人	－人	2,710人

<p>外部評価委員の評価</p>	<p>○今回も講座が実施できなかつたり、事業開催が見送られたため、全体の評価は下がっているようだが、コロナ禍の中で工夫した団体の様子を共有するなどして工夫している様子がかうかえた。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の影響により、文化的事業のほとんどが開催できなかつたことは残念に思うが、文化協会加盟団の中にコロナ禍でも活動している団体があることも事実である。引き続きその工夫を加盟団体で共有するようにしてほしい。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの芸術・文化活動が中止となった。コロナ禍で活動が停滞した団体の再始動への支援と感染予防対策を行い、行事が開催できることを期待する。</p> <p>○文化団体構成員の高齢化が進み、若年層の取込みは長年の課題となっている。若年層の取込みを期待する。</p>
------------------	--

事業名	②文化財の保護・保存・活用			
施策の内容	○郷土の貴重な文化財を保存・伝承するとともに展示や周知することにより、市内にある文化財の価値や魅力を広く発信します。			
担当課	生涯学習課			
実施内容	<p>○市内文化財の保護・保存・活用</p> <p>・令和2年9月に、長久保赤水関係資料693点が国の重要文化財に指定された。</p> <p>文化財指定を記念して、赤水の業績を描いたドラマDVDの制作を行い、赤水の知名度向上を図った。</p> <p>また、重要文化財に指定された資料のうち5点の修復作業を行った。</p> <p>・穂積家住宅については、茅葺屋根の葺き替えの実施設計を行った。</p>			
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 順調	<input type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	<p>○長久保赤水関係資料の修理については、令和3年度から8か年計画で33点の修理を行う予定。資料の修理には国の補助が活用できるが、市の負担分について新たな財源を確保する必要がある。</p> <p>また、赤水の顕彰と観光客誘致のため、令和2年度から赤水の業績と高萩市を紹介する映像化事業を実施し、学校教育に活用するとともに、市公式YouTubeチャンネル等を活用し、世界に向け発信している。(令和3年8月公開)</p> <p>○穂積家住宅茅葺屋根修理工事を施工する。</p>			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R7)
高萩市歴史民俗資料館の入館者数	3,010人	1,152人	3,600人

<p>外部評価委員の評価</p>	<p>○今回も長久保赤水関係の文化財保護・活用に関して評価が高まっている。今後も継続して取り組んでいただくことを願っている。</p> <p>○長久保赤水関係資料が国の重要文化財の指定を受けて、ドラマDVD製作、また、YouTubeチャンネルなどの活用は、世界に向けての発信として高く評価したい。</p> <p>○穂積家住宅来場者は、新型コロナウイルス感染症の影響とはいえ三分の一の1,152人に減少した。今後は、来場者増加に向けて目標値達成されるように手立てを考えてほしい。</p> <p>○長久保赤水関係資料が重要文化財に指定され、「長久保赤水特別展」やDVD化してのPR活動は、赤水の知名度向上が図られた。引き続き、PR活動を展開して、観光客誘致等に期待する。また、資料の修復作業を計画的に実施して保存管理をお願いする。</p> <p>○穂積家住宅で懸案であった茅葺屋根の葺替修理工事を施工することが決まり、これまでの取組みを評価する。継続して貴重な文化遺産の保存管理と活用をお願いする。</p>
------------------	--

事業名	③市民による国際交流推進			
施策の内容	○市内外の外国人との交流や外国文化に触れる機会の増加に向け取り組みます。			
担当課	生涯学習課			
実施内容	<p>○高萩市国際交流協会事業</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、高萩市国際交流協会主催の「高萩国際交流の集い」、市内中学生の「海外派遣事業」などの事業が開催できなかった。</p> <p>市内に居住する外国人に向けたやさしい日本語教室の開設検討をした。</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input type="checkbox"/> ほぼ順調	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	<p>○市内居住の外国人との交流事業の実施（日本語教室など）</p> <p>○海外派遣事業の見直しを行う。</p> <p>これまで交流をしてきたカメハマメハ学園（ハワイ）とのつながりが、先方担当者の退職に伴いなくなってしまったため、訪問先や実施プログラムの再考を迫られている。</p> <p>このため、短期留学などのノウハウを持つ旅行会社への業務委託等の方法を視野に入れ、高萩市国際交流協会と協議していく。</p>			

主要事業指標 （総合計画の成果指標）	基準値 （R2）	実績値 （R3）	目標値 （R7）
「高萩市国際交流のつどい」参加者数	20人 （留学生） 15家族 （HF）	—	20人 （留学生） 18家族 （HF）

外部評価 委員の評価	<p>○市内外の外国人との交流や外国文化に触れる機会の増加に向けたやさしい日本語教室の開設等の検討を今後も続けてほしい。</p> <p>○市内に居住する外国人との交流事業を「日本語教室」とともに異文化交流として、市民のグローバル化意識、国際人として資質を高めるためにも、今後、継続してほしい。</p> <p>○国際交流協会事業の見直しについては、高萩市国際交流協会と協議して実施することを期待する。</p> <p>○市内居住の外国人との交流事業を実現し、市民の国際化意識を高めることに期待する。</p>
---------------	---

(5) 防犯

警察等の関係機関と連携し、防犯に関する広報や啓発活動を通して市民の防犯意識の高揚に努め、地域ぐるみの防犯・地域安全活動を推進します。

事業名	学校外での子どもの安全確保と健全育成			
施策の内容	○子どもたちが事件や事故に巻き込まれることがないように、ボランティア等による見守り活動の実施や、青少年相談員による相談・巡回活動の充実を図ります。			
担当課	生涯学習課			
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ○地域子ども安全ボランティア等による登下校時の立哨指導 ○ながら見守りの実施 ○交通安全指導隊等による地域安全キャンペーン(総務課所管) ○青少年相談員による巡回活動、防犯のぼり旗の設置・体験活動を通して子どもたちの健全育成を図る「少年探検講座」の開催(R3年度は中止) ○防災無線を活用した、ながら見守りの呼びかけ(教育総務課) ○メルたか、まちこみメール等を活用した防犯情報の提供 			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	<p>○「地域の子どもたちは地域で守る」を合言葉に、各種団体が子どもたちの安全確保に様々な活動をしているところであるが、市の所管が多部署にわたることから統一的な活動が困難な部分がある。</p> <p>行政、学校、ボランティア団体等の全体で情報や活動の共有を図っていくことが課題となっている。</p>			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R7)
地域子ども安全ボランティア登録人数	43人	34人	60人

外部評価 委員の評価	<p>○防災無線を活用した「ながら見守り」やマチコミメール等を活用した「防犯情報の提供」は既に定着し活用が図られている。今後も継続してほしい。</p> <p>○防災無線を活用した「ながら見守り」の呼びかけは、「地域の子どもたちは地域で守る」の日本古来の精神が引き継がれているように感じた。地域のつながりが希薄になった今だからこそ、この取組みを高く評価したい。</p> <p>○地域子ども安全ボランティア等が登下校時の立哨指導等の取組みに敬意を表します。引き続き、子どもたちの安全確保活動をお願いしたい。</p> <p>○防災行政無線を活用した「ながら見守り」の呼びかけを行い、多くの皆さんが子どもたちの安全・安心確保のために、ながら見守り活動をしている。「ながら見守り」の呼びかけは有効な取組みと考える。</p>
---------------	--

(6) 人権

市民一人ひとりの人権が尊重されるまちを構築します。

事業名	学校における人権教育の推進			
施策の内容	○学校教育や生涯学習などの場において人権教育を実施し、差別や偏見がなく、人権の尊重についての理解を深める学習に取り組めます。			
担当課	学校教育課			
実施内容	<p>○各学校において人権教育推進全体計画を作成し、人権尊重の視点に立った学校づくりを行った。</p> <p>○人間関係のトラブルに関する生活指導や生徒指導の場面で、相手の立場や気持ちを考えさせる指導を行っている。また、学期に1回以上の生活アンケートの実施により、いじめやトラブルの早期発見に努めた。</p> <p>○松岡地区（松岡幼・松岡小・松岡中）が令和3年度から令和5年度までの3年間、人権教育総合推進地域事業として県の委託を受けることとなった。コミュニティ・スクールの仕組みを生かして、人権コーナーの設置や人権教室などを実施した。</p> <p>○いじめ問題対策連絡協議会では、「厚生労働大臣いのち支える自殺対策推進センター」の相談支援員を招き、児童生徒のいじめへの初期対応と自殺予防対策について再確認した。</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input type="checkbox"/> ほぼ順調	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
課題と今後の取組	<p>○悪口やかからかいなど、いじめに当たる行為はなくなっていない。いじめ認知件数についても、小学校で多く認知されている。引き続き、教育活動全体を通して人権意識を高めるとともに、道徳の授業において人権尊重の意識を高め、様々な体験活動を通して実践力を高める指導を充実させる。</p> <p>○17項目の人権課題に対して、知識として学ぶだけでなく、日常生活において態度や行動に表れるような人権感覚の涵養に努める。</p>			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R7)
人権が尊重されているまちであると思う市民割合	45.6%	-	60.0%

※人権課題

- ①女性 ②子ども ③高齢者 ④障害者 ⑤同和問題 ⑥アイヌの人々
 ⑦外国人 ⑧感染者等 ⑨ハンセン病患者等 ⑩刑を終えて出所した人
 ⑪犯罪被害者 ⑫インターネットによる人権侵害 ⑬北朝鮮当局による拉致問題
 ⑭ホームレス ⑮性的指向、性自認 ⑯人身取引 ⑰東日本大震災

外部評価委員の評価	<p>○松岡地区（幼・小・中）の「人権教育総合推進地域事業」を市内全地域に広報してほしい。</p> <p>○「自分がその立場だったらどう思う」という問いかけを大切にする「相手の立場や気持ちを考えさせる」ことは、非常に重要な事業内容だと高く評価する。今後も継続して指導することを期待する。</p> <p>○学期に1回以上の生活アンケートを実施し、教職員が情報を共有していじめやトラブルの早期発見と解決に取り組んでいることを評価する。継続して、いじめやトラブルの早期発見・対応をお願いします。</p> <p>○松岡地区が人権教育総合推進地域事業として県の委託を受け活動している。地域全体で人権意識を培い、人権尊重の精神を高める重要な活動の各学校への水平展開をお願いします。</p>
-----------	--

Ⅲ 外部評価委員会委員の意見

○「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書」について、今回は「第6次高萩市総合計画」に基づいて、項目等が変更になり各課でまとめるのに大変苦勞なさったと感じています。「実施内容」を「評価」して「課題と今後の取組」を明らかにしましたが、「実施内容」と「課題と今後の取組」の関連が図られない記述も見受けられました。さらに「評価」そのものの基準が各課で少々捉え方が異なる点も見受けられたようです。各課の担当者が具体的な取組みとそのことに関する課題と今後改善のためにどのようにしていくかという関連を図った記述に心がけていたとは思いますが、的を絞って焦点を当てた代表的な事業を記述していくことを願っています。

○「主要事業指標（総合計画の成果指標）」は、「誰が見ても分かる」ような内容にしていけると良いと思います。

○新型コロナウイルス感染症防止のため、順調に推進できない状況下で、代替え案などを検討し実施するに至った取組みを高く評価する。さらなる向上に期待する。

○教育に関する事務の管理及び執行の状況に関する報告書は、教育委員会が管理・執行する事業を各担当課中心に計画を立て確実に推進・実践していることを評価する。

○小中学校1人1台パソコンの授業、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育の取組みをお願いします。

○学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について、学校部活動から地域部活動への移行を踏まえ、スムーズな移行ができるよう取組みをお願いします。

IV 参考資料

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。